

公益財団法人総合安全工学研究所 の役割



東京大学名誉教授
公益財団法人総合安全工学研究所 理事長
田村 昌三
Masamitsu Tamura

このたび公益財団法人総合安全工学研究所の理事長の大役を拝命することになった。

総合安全工学研究所は、安全に係る科学技術の向上を図り、国民福祉の向上および社会経済の健全な発展に貢献することを目的とし、北川徹三横浜国立大学名誉教授、疋田強東京大学教授、福山郁生横浜国立大学教授が中心となり、財界、業界、学会の協力を得て1973年に設立された。初代理事長には黒川真武科学技術会議会員、次いで、疋田強東京大学名誉教授、永野治石川島播磨重工業(株)顧問、井上孝東京大学名誉教授、那須翔東京電力(株)相談役、都築正和東京大学名誉教授が理事長を務められ、総合安全工学に関する調査研究、人材育成、情報収集、処理および提供、コンサルティング・サービス、普及啓発等に多大の貢献をしてきた。そして、2012年4月、都築正和理事長、小川輝繁専務理事のご尽力により、公益財団法人としてスタートし、今年で創立40周年を迎えることとなった。

最近の産業安全問題や社会安全問題をみ

ると、産業の高度化、多様化、合理化により潜在危険は増大し、作業の専門化・分化・コンピュータ化の進展により全体像や中身が不明となり、異常への対応が困難となっている。また、世代交代が進み、ベテランの退職や安定操業、プラント建設機会の減少により、技術伝承が大きな課題となっている。一方、物質的に豊かで、個人尊重の社会の中で、核家族化は進み、教育も変化し、危険への感性や安全意識の低下、価値観の多様化、倫理観や社会性の低下が見られる。今後の安全問題に対しては、種々の観点から総合工学的に対処する必要がある。

総合安全工学研究所には、工学のみならず、理学、医学、薬学等自然科学分野、社会科学分野、人文科学分野等、幅広い分野の専門家がコミットしている。安全・安心社会の構築に向けて、総合安全工学研究所がその使命と役割を果たし、多少なりとも貢献できればと願っている。皆様のご支援、ご協力をお願いする次第である。

公益財団法人総合安全工学研究所 役員

理事長 (代表理事)	田村 昌三	東京大学名誉教授	理事	花岡 一雄	東京大学名誉教授 JIR東京総合病院名誉院長
専務理事 (執行理事)	小川 輝繁	横浜国立大学名誉教授	理事	丸山 修	住友化学(株)執行役員
常務理事	福富 洋志	横浜国立大学大学院教授	理事	三宅 淳巳	横浜国立大学大学院教授
理事	篠原 一彦	東京工科大学教授	理事	安原 洋	東京大学医学部付属病院教授
理事	都築 正和	東京大学名誉教授	理事	若倉 正英	(独)産業技術総合研究所研究顧問 (特非)安全工学保安力向上センター長
理事	高木 伸夫	(特非)安全工学副会長 (有)システム安全研究所所長	監事	田中 保正	元(一社)日本芳香族工業会専務理事
			監事	向殿 政男	明治大学名誉教授